

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	児童くらぶ ばらそる			
○保護者評価実施期間	R7年 3月 1日	～	R7年 3月31日	
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	16	(回答者数)	12
○従業者評価実施期間	R7年 3月 1日	～	R7年 3月31日	
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	6	(回答者数)	6
○事業者向け自己評価表作成日	R7年 4月4日			

○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	児童の意思決定	行事の計画立案や行事計画書の作成を児童が行い実施している。	様々なツールを使って、クラスでどのような活動を行えるか、その為に必要な者は何かなどを調べて計画・実施できるように支援していく。
2	活動の充実化	季節に応じた活動や、普段経験できない活動を取り入れ、その中で高学年の児童が低学年の児童のお世話をしたり、今すべきことを教えたりなどの相乗効果が生まれている。	今のやり方を継続しつつ、さらに充実化を図れるように支援していく。
3	情報の共有と支援の充実化	ミーティングや引継ぎなどで児童の状況や支援の変更等の把握をし、どの職員が対応しても同じ対応が出来る様にしている。また、同じ失敗に繋がらない様にも情報共有を徹底している。	今のやり方を継続しつつ、さらに充実化を図れるように支援していく。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	保護者間の交流	年数回の行事で交流の場は設けているものの、仕事等で参加できない保護者の方のいる為、交流の場を増やして保護者間の情報共有の場が必要。	現在行っている行事の参加以外にも、保護者の方が集まって交流できる活動等を検討し実施していきたい。
2	伝達力の向上	保護者の方に上手く報告の意図が伝わっていなかったり、報告漏れが指摘されている。	些細な事でも分かり易く丁寧に説明し、理解の充足を図り、事業所での事や取り組んでいる事等を周知できるようにしていきたい。
3	他機関との交流	あまり他事業所(法人内を除く)や地域の子ども達との関りが少なく、また資源の活用に対しても乏しい状況にある。	交流の機会を増やす。 事業所内外で活用できる資源の有無を確認し、利用して行ける様に取り組んでいく。